

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）アトミガクエンジョンダイガク	フリガナ）マネジメントガクブ	フリガナ）ヤマサワゼミ
跡見学園女子大学	マネジメント学部	山澤ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 内動画 （有・無）	動画使用 スライドページ
フリガナ）ヤマサワゼミビー	フリガナ）ハラダ リオ	4	無	
山澤ゼミ B	原田 梨央			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物（例：商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート）

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ（発表タイトル）

女性の“子供が欲しい”を叶える

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

“子供は欲しい。でも結婚は考えていない”そんな思いを持った女性の為に結婚をしなくても子供を作れるというシステムの提案。

30 歳になって、子供は欲しいが仕事が忙しくて恋愛している暇はない。でも子供を産むにはタイムリミットがある。そんなとき私たちが提案するシステムを使い卵子を保存しておけば自分が欲しいと思ったタイミングで子供を授かるチャンスを得ることが出来る。

又、30 代後半になり、結婚はもう諦めて子供だけ欲しい。そんな時にも私たちが提案するシステムを使うことによって子供を授かることができるかもしれない。

通常であれば、妊娠の前に必ず“恋愛”というものがあると思うが恋愛という過程を飛ばし子供を作ることができるので恋愛してなくても子供が欲しいと思ったら短い期間で子供を授かるチャンスがある。なので、キャリアで忙しくしていたが余裕ができてきた人や結婚に良いイメージがなく結婚をしたくない人などを主なターゲットとしている。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

子供を持ちたいという女性は多くいる。多くいるにもかかわらず、現日本社会では少子化が進んでいる。その背景には未婚女性の増加というのがある。今の日本では、出産というものは結婚の先にあるものという固定観念がある。なので、このままの日本人の考えでいくと結婚する女性が増えない限りは子供の数が増えることもない。数字で見ても、日本は嫡出でない子（法律上婚姻関係のない男女の間に生まれた子）の割合は2.3%と低い。一方ヨーロッパの嫡出でない子の割合は30～60%近くあり、日本では結婚して、子供を産むという概念が強いことが裏付けられる。

又、卵子というのは日々老化しており34歳を過ぎると妊娠率は急激に下がる。その為、プライベートを後回しにしてキャリアを優先してきた女性の方々が、仕事が落ち着いたので子供が欲しいとなっても、年齢的に作れないという状態になってしまっている。しかし、そのことを知らない為に子供は作れると思って病院に駆け込む方が多いという現状がある。

3. 研究テーマの課題

上でも述べたように、日本では結婚→妊娠→出産もしくは妊娠→結婚→出産という風に出産するためには必ず結婚という概念が強く根付いている。妊娠→結婚→出産という順番でも世間からの評判は良くないので、まずその「結婚して子供を産む」という概念をなくすという課題がある。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

“結婚はしたくないけど、子供は欲しい”そんな方の為に、システムに登録してある男性から気になった精子を提供してもらい、体外受精をし、結婚しなくても子供を授かるかもしれないというシステムを考えた。

① 34歳以下の女性の方

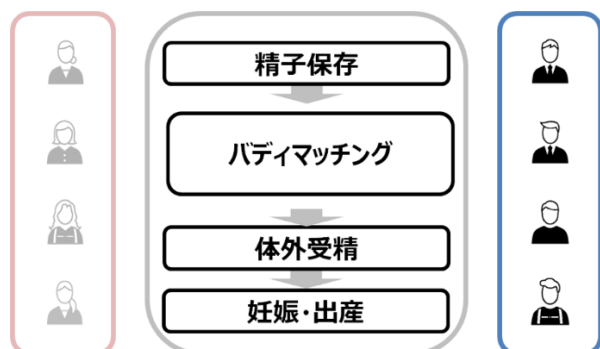
システム登録時に精子・卵子を保存。保存することによって精子・卵子が老化するのを防げる。なので、女性は子供が欲しいと思ったときにリストの中から気になった男性の精子を受け取り、体外受精をすることができる



② 35歳以上/今すぐにほしい方

35歳を過ぎると卵子を保存しても意味がないので、卵子は保存しない。

子供が欲しいと思ったときに、リストから気になった男性の精子を受け取り、人工受精をすることができる。



5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

女子大生 193 名に Google フォームにて「結婚はしたいか」「子供は欲しいか」というアンケートを実施。結婚したいと答えている人が約 85%に対し、子供が欲しいという人は約 90%。結婚したいという願望よりも子供が欲しいという願望の方が大きいことが分かる。

卵子保存を専門に研究している方にインタビューをしにいき、卵子保存の仕組みや来院される方の声などを伺った。

6. 結果や今後の取り組み

今後、2 つのことについて広めていきたい。

1 つ目は、卵子は老化すること。卵子保存を専門にされている方のインタビューで、来院される方は 30 代後半の方が多いと仰っていた。しかし、30 代後半で卵子保存をしても遅く、卵子が老化すると聞き、急いで病院に駆けつけたらもう遅かった。ということで後悔しないよう今の内から話題の中に取り入れるなどして、卵子は 34 歳を過ぎると急速に老化するので早め早めに準備をすることが大切ということの認知を広げる。

2 つ目は、ライフプランを早く考えること。早い内から何歳までに結婚をしたい、子供を産みたい、結婚も出産もしないで仕事一筋で行くと自分自身のライフプランを考えておけば、その年齢までにすべきことが見えてくる。若い内は仕事を頑張ってプライベートは 30 代になってからと考えている場合は卵子保存をしておくことを勧めるなど“知らなかった”で後悔する人を減らせるよう取り組んでいく。

今回提案したようなシステムを実現するには、日本人の意識改革など難しい点はあるが、このようなマッチングサービスを通して“結婚をしていなくても（海外のように）子供が産める”ということに対しての偏見がなくなるような社会作りをしていきたい。私達が若い人に広めていくことによってそれが当たり前となり、子供を産みたいタイミングで産める世の中にしていきたい。

7. 参考文献

・総務省統計局「年齢 3 区分別人口及び割合の推移」（閲覧日 2018 年 9 月 9 日）

<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/2017np/pdf/2017np.pdf>

・厚生労働省「平成 26 年版構成労働白書～健康・予防元年～図表 1-1-2 生涯未婚率の推移」（閲覧日 2018 年 9 月 10 日）

<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/14/dl/2-01.pdf>

・国立社会保障・人口問題研究所「第 15 回出生動向基本調査 第 1 部 独身者調査の結果概要 調査・年齢別にみた、各「独身にとどまっている理由」の選択割合」（閲覧日 2018 年 9 月 10 日）

http://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou15/NFS15_report3.pdf

・しらべえ「旦那はいらない？子供はほしいが結婚したくない女性の理由」（閲覧日 2018 年 9 月 9 日）

<https://sirabee.com/2016/11/11/20161026960/>

・厚生労働省「平成 30 年人口動態統計 出生に占める嫡出でない子の出生割合の国際比較」（閲覧日 2018 年 9 月 10 日）

<https://www.mhlw.go.jp/english/database/db-hw/dl/81-1a2en.pdf#search=%27%E5%AB%A1%E5%87%BA%E3%81%A7%E3%81%AA%E3%81%84%E5%AD%90%E3%81%AE%E5%89%B2%E5%90%88+%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E6%AF%94%E8%B C%83+%E4%BA%BA%E5%8F%A3%E5%8B%95%E6%85%8B%E7%B5%B1%E8%A8%88%27>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員（ビジネスパーソン・大学教員）の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経 BP マーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HP などに発表されていない)ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナル関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください